

報道機関各位

令和6年(2024年)9月11日

市立函館保健所保健予防課長

**9月24日～30日は結核・呼吸器感染症予防週間です
～パネル展開催と函館市定期結核健診の周知強化をします～**

結核とは、結核菌によって主に肺に炎症を起こす病気です。結核が進行すると、咳やくしゃみなどによって結核菌を含んだ飛沫が飛び散り、周りの人が結核菌を吸い込むことにより感染が広がります。結核は咳、痰、だるさなど風邪に似た症状で始まることもあり、自分が結核だと気づかずに周りの人々に感染させてしまうことがあります。

「結核は昔の病気」という認識の方が増えていますが、本市では毎年約30人が新たに結核と診断され治療を受けます。65歳以上の高齢者の占める割合は7割を超えていますが、働き盛りの世代も安心はできません。

厚生労働省では、毎年9月24日～30日を「結核予防週間」と定めていましたが、令和6年度から「結核・呼吸器感染症予防週間」に変更し、結核の他、例年秋冬に流行するインフルエンザや新型コロナウイルス感染症などの呼吸器感染症に関しても、正しい知識の普及啓発を図ることとしました。

本市ではこの期間を通じて早期発見や感染予防、定期的な結核健診受診の大切さについて広く市民に知ってもらいたいと考えておりますので、取材についてよろしくお願ひします。

【パネル展】

結核や呼吸器感染症について正しい知識を身につけてもらうため、症状や予防について紹介するパネル展を開催します。

- ・場所 総合保健センター 1階
健康ギャラリー
函館市五稜郭町23番1号
- ・日時 令和6年9月24日(火)
～9月30日(月)

【函館市定期結核健診】

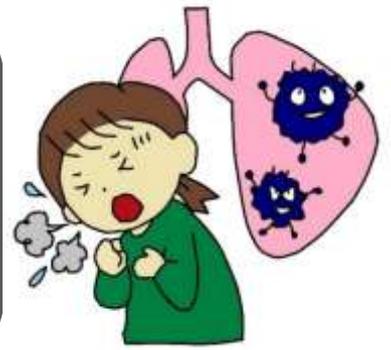
結核の罹患率が高い者や結核を発病すると周囲に感染させるおそれが高い者等に対し、結核を早期に発見し、集団感染を防ぐことを目的とした健診です。

- ・対象者 65歳以上の方
(令和6年度中に65歳になる方を含む)
※65歳以上の方は、年1回の結核健診が義務づけられています。
- ・実施内容 胸部レントゲン検査
- ・料金 無料
- ・場所 「特定健康診査」集団健診会場
 - ① 函館市医師会検診検査センター
(函館市田家町5番16号)
 - ② 各町会館などを会場とする巡回健診

問い合わせ先

市立函館保健所保健予防課感染症・難病担当
電話 32-1539 (担当:高橋,鷺尾)

結核 はあなたの すぐそばに…



1年に1回は **結核健診** を受けましょう

～結核は決して「過去の病気」ではありません～

若い頃結核が流行していた世代の人は結核にすでに感染している人が多くいます。また、働き盛りの世代の方も安心はできません。

職場健診等で1年に1回は胸部レントゲン検査を受けましょう。

特に！！

65歳以上の方は年1回の結核健診の受診義務があります

65歳以上だけど職場健診はないし…
どこで受けられるのかわからないなあ



函館市ではここで受けられます！

函館市定期結核健診

- 実施内容 胸部レントゲン検査
- 対象者 65歳以上の方
(今年度中に65歳になる方を含む)
- 料金 無料
- 予約 不要
- 持ち物 保険証

※ 特定健診と一緒に受ける場合は、市から送られている受診券も必要です。

- 実施場所 「特定健診」**集団健診実施会場**

裏面へ→

「特定健診」 集団健診について

※ 集団健診は毎年6月～翌年3月まで実施しています。
4月と5月は実施していないためご注意ください。

① 函館市医師会健診検査センターで受ける場合

住 所 函館市田家町5番16号

電 話 43-8801

日時	
毎週 月曜日	13:00～15:00
毎週 水曜日	8:30～10:30
毎週 金曜日	8:30～10:30
火曜日 (月ごとに日付が決まっています)	8:30～10:30 または 17:30～19:00
土曜日 (月ごとに日付が決まっています)	8:30～10:30
日曜日 (月ごとに日付が決まっています)	8:30～10:30

② 町会館などを会場とする巡回健診で受ける場合

日時により場所が異なります。

※ 日時・場所等の詳細については、毎月市政はこだてに掲載しております。

※ 左記のQRコードからも日時・場所の詳細を確認いただけます。
QRコードを読み込み、「けんしんのご案内」をご覧ください。



こくほ：「特定健診」について

結核に関する問い合わせ 市立函館保健所 保健予防課 電話 32-1547

結核は まだまだ身近な 病気です

1年間で(2023年)

新登録
患者数

10,096人

死亡者数
(概数)

1,587人

予防しよう
身近な呼吸器感染症

インフルエンザ

新型コロナ
ウイルス感染症

細菌性肺炎

など

早期発見

結核



せき・たんが2週間以上続いたり、微熱や体のだるさが続く場合は、早めに医療機関を受診しましょう。

予防

呼吸器感染症



換気、手洗い・手指消毒などの基本的な感染対策が有効です。また、感染予防としてマスクの着用が効果的です。



結核・呼吸器感染症に関する5つのQ&A

結核

Q1 結核はどうやってうつるの？

結核が進行すると、咳やくしゃみなどによって、空気中に結核菌を含んだ飛沫が飛び散るようになります。その結核菌を吸い込むことにより周りの人に感染が広がります(空気感染)。結核の症状(咳、たん、微熱、体のだるさなど)には特徴的なものがなく、初期には目立たないことが多いため、特に高齢者では気づかぬうちに進行してしまうことがあります。咳やたんが2週間以上続いたり、微熱や体のだるさが続いたりする場合は、早めに医療機関を受診しましょう。

Q2 普段から気を付けることは？

定期的に、胸部エックス線検査を含む健康診断を受けることが重要です。結核を発症しても、早期に見できれば重症化を防げるだけでなく、家族や友人等への感染拡大を防ぐことができます。

Q3 結核は治療すれば治るの？

結核は通常、薬(複数の抗結核薬等)を医師の指示どおりに飲むことで治療できます。標準的な治療期間は6か月～9か月です。治療途中で薬を飲むのをやめてしまったり、指示どおりに薬を飲まなかったりすると、結核菌が薬に対して抵抗力(耐性)を持ってしまい、薬の効かない結核菌(耐性菌)になってしまう可能性があります。医師の指示を守って、定められた期間きちんと薬を飲み続けることが最も重要です。

Q4 呼吸器感染症にはどんなものがあるの？

新型コロナウイルス感染症や季節性インフルエンザ、RSウイルス感染症、細菌性肺炎などがあります。呼吸器感染症の多くは、感染した人が咳やくしゃみをすることで飛んだ病原体を含む飛沫を吸い込むことで感染します。

Q5 呼吸器感染症はどうやって予防すればいいの？

呼吸器感染症対策の基本は、「手洗い」や「マスクの着用を含む咳エチケット」です。外出先からの帰宅時や調理の前後、食事前など、こまめに手を洗いましょう。また、感染を上げないために、咳やくしゃみをするときにはマスク、ティッシュ、ハンカチ、袖などで鼻と口を覆いましょう。また、新型コロナウイルス感染症、季節性インフルエンザ、肺炎球菌感染症のワクチンについては、症状が重くなりやすい高齢の方や一定の基礎疾患(持病)のある方を対象に定期接種を実施しています。定期接種の詳細については、お住まいの市区町村にご確認ください。

呼吸器感染症

